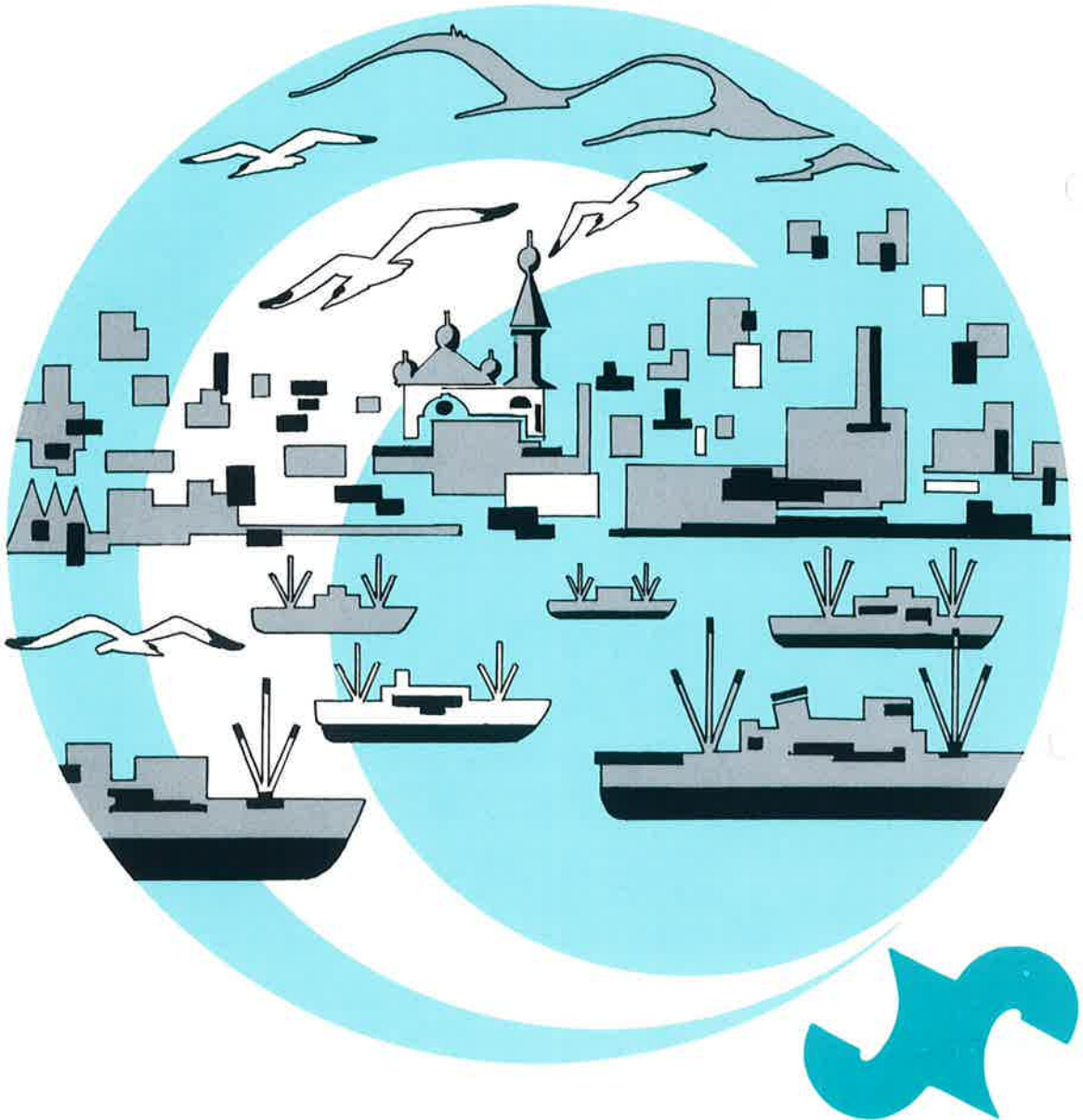


ともえ No. 71

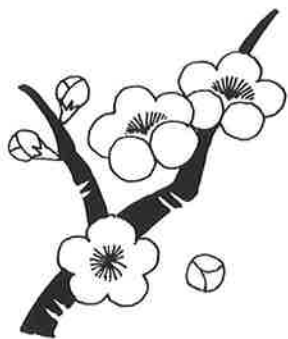
'88青函博 みんなの力で成功させよう！



■函館商工会議所報■

1987 新年号

謹んで新年の
お慶びを申し上げます



賀

地域社会繁
栄への奉仕

3つのビジョン

中小企業の
健全な発展

豊かな国民
生活の建設

はこしんは豊かな暮らしと確かな未来
の実現にお手伝い致します。



はこしん

函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

●ともしこ・71号目次●

視 点	1
新年を迎えて	2
年頭所感	3
会議所だより	4
事務局日誌	8
誌上年賀	10
新春放談	18
十二支物語	24
成人おめでとう	25
地域の景気	26
調査レポート	30
アドバイスコナー	32
寄稿文	34
Q & A	36
ライタータイム	38
ご案内	40



● 視 点

新年明けましておめでとうございます。

円高に始まり、新市長の誕生、美術館の開館そして工業技術センターの開所など、いろいろ話題の多かった昭和六十一年も終り、新しい年昭和六十二年を迎えました。

昨年十二月に、国土審議会計画部会から、第四次全国総合開発計画調査審議経過報告(中間報告)が出され、二十一世紀へ向けての我が国の国土づくりの指針として、国際化、高度情報化、都市化など経済社会変化の基本的流れに適切に対応し、活力ある国土づくりを進めるため、また同時に明治以降激動の一世紀を越え、戦後も四十年を過ぎた今日、子孫に誇りをもって引き継ぐ我がまちなちのあるべき姿を求めてみる時代でもあるとして、新たに展開すべき施策を中心に、基本的な考え方がまとめられました。

この中で既存ブロックを越えた各種の交流を促し、地域の活性化をもたらす広域的な交流圏、即ちインターブロック交流圏として、青函地域と西瀬戸地域の二か所が明示されています。青函地域は、青函トンネルの開通を一つの契機に本州・北海道の結節点として北東北と道南地域の交流が促進され、トンネルの活用とともに両地域のテクノポリスや大学の連携、共同イベントの開催などを通じて、地域の活性化と独自性がはかられるとしております。

青函博開会迄あと一年半ありません。明るいあすの函館圏をめざし地域の活性化のため、本年は経済界をあげてこの命題に取り組もうではありませんか。

新年を迎えて

函館商工会議所

会頭 川 田 寛



昭和六十二年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は四回にわたる公定歩合引き下げを通じて金融緩和が一層滲透してまいりました。一方六十年秋に始った円高ドル安の為替相場は、一応落ち着いた動きとなりましたが、この間輸出産業に与えた影響は大きく、輸出品の減少による収益悪化が顕在化してきており、雇用動向にも低下の傾向が見られ、景気の動きについてはなお注意深く見守っていく必要があるかと存ずるのであります。

このような厳しい経済環境の中ではあります、当地域においては明るい幾つかの事業の推進がありました。

すなわち、本年三月には五稜郭地区のコミュニティ・マーケット構想モデル事業の報告書が策定され、六十一年度からは愈々活性化に向けて事業実施に入ったのを始めに、七月には将来の函館のあり方に大きな影響をもつ青函トンネル開通記念博覧会の実行委員会が設置され、事務局体制も強化し六十二年七月九日の開会に向けて走り出しましたほか、現函館駅前の一つの顔を形成する都市型ホテルとしてのハーバービューホテルの起工式が行われました。九月には文化都市函館を象徴する道立函館美術館が特別史跡五稜郭跡の隣地に完成し開館をみるに至りました。そして十月一日には道立工業技術センターが開所し、二百名近い応募者の中から選ばれた優秀な研究員が、テクノポリス函館の中核となるべく調査研究活動に入りました。

また、同じ日にかねてより経済界をあげて推進してまいりました地元資本の第三セクター方式による株式会社函館情報技術開発センターが充足し、テクノポリ

ス函館を背負ってたつ情報技術者養成のための函館ソフトウェア専門学院建設が、六十二年四月の開校に向けて着工されました。さらに、函館山ロープウェイ株式会社に対する市の出資も行われ、北海道東北開発公庫の出資とあわせ、同社は名実共に第三セクターとして、より公的な立場から観光都市函館の形成に向けて重要な函館山の観光施設の整備改善に、官民あがっての体制が整い、青函トンネル開通記念博覧会迄に完成すべく早速事業の実施に入っております。

この間、八月には通産省のニューメディア・コミュニティ構想の応用発展地域に指定され、観光振興型として恵まれた観光資源の活用と、これらの有機的連携をはかり観光サービス機能の強化充実を促進するなど、地域の特性を活かした観光情報機能や観光物産流通機能の整備強化による地域経済の振興発展を目指すことになりました。さらに十一月には、市内の殆どどの町会、法人、一般団体など二百六十二の民間団体の方々のご賛同による新幹線現函館駅乗入れ促進期成会が設立され、新幹線の現函館駅乗入れ運動に総力をあげて取り組むことになり、十二月には代表者が市及び市議会に陳情いたしました。

このように昨年一年を振り返りかえってみますと、一面では国鉄、造船など問題はありませんが、全体的にみても厳しい環境にありながらも、今函館は着実に一歩を前へ踏み出したといえるのではないかと存ずるのであります。

昨年申し述べました経済界をあげて対処しなければならぬ四つの課題即ち

- 一、テクノポリス函館計画の推進
 - 二、青函トンネル開通記念博覧会の開催
 - 三、新幹線誘致運動と駅前地区の再開発
 - 四、国立函館大学の設置
- を進めていくことについては、当面大きく変わる所はない訳であります。本年は明年七月開催の青函トンネル開通記念博覧会の準備に特に力を注いでまいりたいと存ずるのであります。

民間活力を結集し、博覧会を裏から支える青函博推進連絡協議会の設置も承認され、実行委員会専門部会への参加など主催者団体の一員としての責務を会員皆様方のご協力により遂行し、世紀のこの世界最長の海底トンネルのもつ諸効果を最大限に活用しまして、地域の産業・経済の活性化に向けて一層の努力をつくしてまいりたいと存じます。

輝かしい昭和六十二年の年頭にあたり、私の所信の程を申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

日本商工会議所

会頭 五島 昇



謹んで、昭和六十二年の新春をお慶び申し上げます。
まず年頭に当たり、日々ご活躍の会員の皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

さて、顧みますと、昨年のわが国経済は、前年九月にG5（五カ国蔵相会議）で合意された政策協調により、円高が急速に進行し、かつて経験したことのない一ドル一五〇円経済に突入した苦しい年でありました。

このため、四次にわたる公定歩合の引き下げ、また、財政面からの景気テコ入れなど、円高に対応する経済運営が模索されました。しかしながら、わが国経済はデフレ色が一段と強まり、産業界においては、重化学工業、輸出関連企業を中心に業績は低迷し、われわれ経済人にとっては、誠に厳しい年となりました。私どもは、この未曾有の難局に立ち向かい、ともかく全力を尽くして、これを乗り切ってまいりました。

このような国内における経済環境の悪化、また企業の業績低下にもかかわらず、昨年のわが国経常収支は、八百億ドルを超える大幅黒字が予想されており、このままの状態が推移すれば、さらに、円高への圧力、また保護貿易主義への動きが強まりかねません。

幸い、昨年の後半から、円高による調整効果が貿易収支にみられるようになり、ましたが、貿易不均衡は世界経済との調和ある発展を願うわが国にとって、極めて憂慮されるべき事態であります。われわれは、内外需均衡のとれた経済の実現をはからなければなりません。

そのためには、過度の輸出に依存しているわが国経済の体質を改め、内需主導型の経済に転換していく必要があります。本年は内需主導の経済成長を実現するため、より一層の内需拡大が要請されるところであります。その際、規制緩和、民間活力を活用し、内需振興に最大限の効果を上げるよう努めるべきであります。

一方、産業構造の転換も緊急を要する課題であります。これをいかに円滑に進めるかは、わが国経済の行方を占うカギであり、この面における国の施策に期待するところ誠に大きいものがあります。とくに産業構造の調整に伴う雇用問題が、早いテンポで表面化することが予想されますので、一刻も早く、その対応策に取り組むよう願わずにはいられません。

また、わが国経済の構造改革が進展するなかで、産業の空洞化が新たにクローズアップされつつあります。関連中小企業は空洞化によつて国内にとり残される危険を感じております。新しい経済に対応した望ましい産業構造を再構築することが、今こそ求められております。

いずれにしても本年も企業をめぐる経営環境が厳しくなることは避けられませんが、しかしながら、歴史的な転換期ともいえる激動の時代こそ、企業にとって、新たな成長の機会となることもまた事実であります。従来の観念にとらわれない発想の転換が必要であり、そこにこそ、飛躍的に発展する道が残されているといえましょう。

思えば、わが国経済は、戦後、荒廃のなから立ち上がり、今、大きく発展を遂げております。この間、幾度となく、苦難の道を歩んでまいりましたが、その都度、先達の不断の努力と不屈の精神をもつて、これを乗り切ってまいりました。本年も引き続き厳しい局面に遭遇するであります。われわれも、これらの困難にめげず、頑張っていきたいと思っております。

商工会議所としても、これまで展開してきた事業を強化する一方、経済構造の変化に伴う地域問題や事業転換、海外進出などを望む企業への情報提供、また人材・能力開発への支援などのキメ細かい活動を通して、変動しつつある地域経済の振興をはかることが肝要であります。われわれはこれらの事業をより積極的に展開し、会員皆様のニーズに応じていかなければならないと存じます。

二十世紀もあとわずか。課題の多い年とはいえ、本年は、二十一世紀に向けて大きく羽ばたく重要な年であり、その基礎固めの年となることを念じつつ、年頭のあいさつといたします。



会議所の動き

第三回臨時議員総会開催

「青函博」に強力な支援体制を確立

本所第三回臨時議員総会は去る十二月四日五島軒本店で開催されました。これは去る十一月開催の常議員会での上提案件を審議するもので、当日は六案件を報告した後、重要案件である青函博及び二案件について審議し、それぞれ原案どおり承認されました。

概要は次のとおりです。
(附議事項)



臨時総会で挨拶する川田会頭—五島軒本店

○青函博について

(一)青函博実行委員会の交通、出展観客動員、宿泊、会場建設等の専門部会に主催者として本所議員全員が加入し、役割りを分担することで協力体制を確立させる。

(二)青函博を成功させるためには、行政側だけの対応でなく、民間活力の活用が大きな鍵をもちていると考えられるため、全市民的な推進体制づくりが必要であると発想から、本所では(仮称)青函博事業推進連絡協議会を設立さ

せようとするもので、今後アンケート調査などを含め具体的事項について前向きに取り組んでいく。

(三)主催者の道、市、本所は主催者負担金を拠出することになっており、本所では会員の方から支援協力願うことになるので、その方法等について検討するため「青函博特別負担金委員会」を設置する。

このほかの附議事項としては、
(株)函館情報技術センターへ出資する件を承認、また欠員となつてくる常議員三人の補充選任については、河村沢治(株)函館トヨペット社長)佐藤悦郎(みかど(株)取締役)松崎勉(函館三菱ふそう自動車販売(株)会長)各氏を選任議事を終えました。

部会開催ご案内

○理財部会

日時 昭和六十二年一月二十二日(木) 午後一時三十分

場所 商工会議所会議室
議件 部会長選任の件

※引続き午後二時より日銀大浦支店長の「函館経済飛躍への課題」について講演会を開催しま

○工業部会

日時 昭和六十二年一月二十八日(水) 午後一時三十分

場所 商工会議所会議室
議件 部会長選任の件

工業技術センターの活用について

す。お誘い合せご聴講下さい。

経済諸問題について懇談

亀田商工会幹部と初会合

このたび、函館市亀田商工会長として就任された大角正治新会長（大成自動車株式会社代表取締役）を中心とする新体制の商工会幹部と、函館商工会議所正副会頭との初の懇談が去る十二月一日駅前五島軒で行われました。

懇談では函館商工会議所と亀田商工会と初めての会合でもあり、



亀田商工会幹部と懇談する本所役員＝五島軒

青函博という地域の一大イベント開催を目前にして、それぞれの地域を代表する経済団体として生活及び産業道路並びに航空路線等の交通体系の改善についての意見や、大型店・FCを中心とした小売商業対策問題、また、青函博に対する経済界の協力体制など多くの課題について広域的な見地より意見交換が行われました。

第六十五回簿記第一回ワープロ（四級）

◎日本商工会議所・函館商工会議所主催による第六十五回簿記検定試験が、去る十一月十六日（日）函館大谷短期大学を会場に実施されました。

今回は、一級四人、二級三十七人、三級百三十人、四級二十四人の計百九十五人が受験し、合格者は二級十四人（合格率三七・八％）

今後引き続きこれらの問題を始め、山積する経済諸問題について継続的に協議していくことを申し合わせました。

今後は銭亀沢商工会も含め、経済界の総意をもって対応していきたいと考えています。当日の函館市亀田商工会の出席者は次のとおりです。

会長大角正治（大成自動車株式会社）
副会長城山貞夫（城山商店店主）
同山田良作（山田建設社長）
専務理事木下武次郎、事務局長元木胖（敬称略）

検定試験実施

三級十四人（四六・九％）、四級十一人（四五・八％）となりました。（二級合格者は中央審査中）

▲二級合格者▼

橋川裕子（函館簿記学校）
納谷元二（函館簿記学校）
相馬 功（青函船舶鉄道管理局）
伊藤裕之（ ）
根本 宏（ ）

林 秀博（北海道電力函館支店）
水島多美子

齋藤秀衛（齋藤ストアール）
野嶋 徹（西稜経営株式会社）

岩崎欣也（函館大学）

増野 豊（ ）

鈴木照吾（ ）
畑良子（㈱マツダ・カーセンター）

宮部 浩（ホクレン）

◎日本商工会議所・函館商工会議所主催による第一回ワープロ技能検定試験（四級）が、十二月七日（日）五会場に分かれて実施されました。

当日は、「文書作成・技巧」と「入力」の実技試験二科目でしたが、これに合計三十九人が受験し、次の二十七人の方がみごとに合格されました。

▲合格者▼

木村知恵子、小村美紀子、小林三郎、太田三和子、里館あゆみ、金ヶ瀬郁子、田畑聡美、加藤恭子、渋谷真理子、川原咲子、荒谷市子、小林弥生、鈴木早苗、神陸子、日吉崇子、関口雅子、大澤礼子、札内一美、中里之美、和泉良子、安藤みのり、室田恵、岩谷弘恵、深瀬操、小倉裕子、福廣恵美、三浦結美子

新幹線現函館駅乗入れ 促進期成会設立

市等に陳情・要望

新幹線現函館駅乗入れ促進期成会（会長川田寛商工会議所会頭）は十一月二十五日開催の総会で設立されました。

これは、北海道新幹線誘致促進期成会（会長横路孝弘道知事）が昨年「道新幹線は、青函トンネル



市長へ陳情する川田会頭＝市長会議室

の有効活用の立場から、当面は青森～函館間、その後函館～札幌間を結ぶ」という、所謂二段階方式の推進を決定してから、現函館駅乗入れ運動が急浮上してきたもので、関連の団体が準備委員会を結成し市内各団体に賛同求め、百四十二町会、一般二十団体、法人百社で設立されたものです。

期成会では本年度最初の事業として川田会長ら代表七名が十二月三日市役所を訪れ、新幹線の新駅を現函館駅に設置すべきであるという要望書を木戸浦市長と出町市議会議長に提出し、協力を要請しました。

要望書は、新幹線が地域に及ぼす開発効果は非常に大きく、青函トンネル有効活用の立場からも青森から函館まで延長し、九州より北海道までを新幹線網で連結することは国事家的業としても非常に

意義があり、また、国の財政状況が厳しいなかで、新幹線の投資は、地域の経済に最大の効果を生み出す方法を考えるべきであるとし、新幹線の新函館駅は都市機能の集積と、交通機能からみて現函館駅が最適であると考えるので、早くに近隣町村とも協議をすすめ、地域の統一された意見としてこれをまとめ、新幹線建設促進にあたるべきであるとしております。

この日、川田会長から「市民の総意として発足した期成会の意思を踏まえ、行政の立場からも最重点項目に入れて対処してほしい」と協力を要請したのに対し、木戸浦市長からは「函館圏総合計画で渡島大野駅付近と、一市三町が合意した経緯もあり、一日も早く周辺三町と協議を進めるよう努力する。また、国鉄、鉄建公団など関係機関との協議も必要であり、新幹線誘致には新駅の位置の問題が大きいことは十分理解しているの、関係者との協議については前向きに考えていきたい」との回答がありました。

期成会は、今後更に市民の輪を拡げ、陳情、要望活動を推進することにしていきます。

旧年中のご愛顧誠にありがとうございました。
本年もよろしくお願い申し上げます。

理事長 鈴木武二

函館都心商店街振興組合

五稜郭商店街振興組合

中島町商店街振興組合

湯川商店街振興組合

赤川通商店街振興組合

協十字街商盛會

大門浅草會

大門一番會

大町商興會

万代町商興會

函館中央街會

昭和通會

堀川町振興會

千代台町振興會

杉並町振興會

柏木商友會

湯川温泉商工親和會

五稜郭商工親和會

松陰町商店街振興會

日花商盛會

函館市商店街振興組合連合會



買い物客でにぎわう会場＝本所ホール

第二回輸入商品フェア開催

入場者前年を大幅に上回る

輸入商品の販売を通じて、市民に外国製品の幅広い理解と輸入拡大についての意識高揚を図ろうと、第二回輸入商品フェア・インはこだてが十二月十三日(土)十四日(日)の両日、函館商工会議所大ホール(函館駅前拓銀ビル六階)において開催されました。この催しは、昨年、通商産業省の呼びかけによる輸入拡大月間の

(十一月)にちなみ、輸入商品フェア実行委員会(渡島支庁、函館市、亀田商工会、本所等で構成)を組織し、第一回目のフェアを実施しましたが、大変好評を博しました。

このような経過から、今年も引き続き開催すべく準備をすすめて参りましたところ、昨年を上回る

確定申告の準備はお済みですか

本所でも税務相談……

正月気分がやっと抜けたかと思ふと、二月十六日から所得税等の確定申告が始まります。あなたは申告の準備はお済みですか。

さて、商工会議所中小企業相談所でもこの期間は、通常の経営等の相談に加え税務指導所として確定申告の納税相談(個人事業者のみ)を行っております。これは、中小企業相談所業務である金融、経営、経理相談とも密接な関係が

十事業所(大型店三店含む)が参加し実施されました。

両日は、世界各国の食料品、家具、自動車用品、装飾品、衣料品、洋酒等が市価より二十%から三十%引きで販売されたことから、大勢の消費者が詰めかけ終日賑いを見せていました。

同委員会としては、次年度以降も参加事業所を増やし、内容を充実させ消費者の方々に喜ばれるイベントに育てて行きたいと考えています。

あるからです。特に、金融相談の中での本所経営改善資金や国・道・市の各種制度資金あつせんについては、申告の有無、所得状況、納税状況等が判断の基礎資料であり、今後の経営全般の指導にもつながります。これらの点からも記帳から決算まで一貫した指導を行っておりますので是非一度来所されてご相談下さい。

新しい感覚・卓越した先進のシステムを通して
美しい印刷物をお届けしています



株式会社 **第一印刷**

TEL (0138) 代 23-0101・(040) 函館市末広町1番8号



事務局日誌

11月

◆委員会

- 5日 総務・高度情報化合同委員会
- 12日 総務・高度情報化合同委員会
- 15日 第3回常議員会
- 19日 青函博特別委員会正副委員長会議
- 25日 議員会役員会
- 29日 正副部長、正副委員長合同会議

◆正副会頭会議

- 8日 正副会頭会議
- 14日 正副会頭会議

◆会議・諸会議

- 4日 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会設立準備委員会幹事会
- 〃 函館地区税務指導協議会
- 5日 第18回全国商工会議所婦人会連合会総会
- 〃 渡島支庁管内市町村長、商工会長会議
- 〃 道信用保証協会（函館支部）との研修会
- 6日 「テクノポリス函館」企業立地説明会
- 〃 税務懇談会（税を知る週間11日～17日）
- 〃 指導員連絡協議会
- 7日 はこだて冬のイベント実行委員会総務部会
- 8日 青函博マスコット・シンボルマーク応募作品審査会
- 10日 坂本春生札幌通産局長との懇談会
- 〃 国鉄職員再就職促進青函局管内地方連絡会議
- 〃 青函博マスコット・シンボルマーク審査結果報告
- 11日 青函圏経済文化振興協議会合同幹事会
- 〃 税を知る座談会（第4回振興委員連絡会議）
- 12日 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会設立準備委員会幹事会
- 〃 HBC社長懇談会「マス・メディアについて」
- 〃 小企業等経営改善資金の審査会
- 〃 国税モニター会議
- 13日 北電電力懇談会
- 〃 函館下北連絡協議会
- 14日 函館地域ニューメディア推進協議会設立総会
- 14日 長沢経済企画庁審議官との懇談会
- 16日 函館地方法人会主催「観光問題フォーラム」

- 17日 札幌国税局直税部長を囲む懇談会
- 〃 ニューメディアコミュニティ構想4者会議
- 〃 商工調停士会議
- 18日 第8回函館市商工連絡会議
- 19日 第1回函館ニューメディアコミュニティ構想推進委員会
- 20日 全道補助員、記帳専任職員研修会
- 〃 雇用保険事務取扱説明会
- 21日 函館地域雇用開発推進会議
- 〃 市営競輪運営協議会
- 25日 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会設立総会
- 27日 函館圏企業誘致推進協議会幹事会
- 28日 国体推進実行委員会、輸送警備専門委員会
- 〃 小企業等経営改善資金の審査会
- 29日 函館市交通局経営審議会

◆講習・催物

- 5日 道人事研修所主催市町村管理職研修会
- 6日 記帳講習会
- 7日 北海道工業大学公開セミナー（本所後援）
- 11日 経営相談
- 14日 法律相談
- 19日 包装、パッケージデザイン講習会
- 〃 発明相談
- 20日 中小企業経営セミナー
- 〃 本所主催「これからの酒販店のあり方」
- 〃 記帳講習会
- 26日 年末調整説明会（法人）
- 27日 労働法特別講座

◆刊行物

- 20日 所報「ともえ」No.70（11月号）発行

◆相談・診断

- 金融207 税務25 経理26 経営213
- 労働6 取引0 その他1 計478

◆貸室

- 本館35 別館5

◆文書

- 受信189 発信11

◆慶弔・その他

- 1日 北海道菓子卸商業組合函館支部永年勤続者表彰式
- 2日 米艦ノックス号入港、同艦長主催夕食会
- 3日 函館機械金属鉄工造船工業協組連合会優良従業員表彰式
- 4日 函館家具工業協同組合永年勤続優良従業員表彰式
- 11日 ライオンズクラブ国際会長歓迎パーティー
- 13日 61年度納税表彰式
- 〃 中日友好協会王副会長歓迎パーティー
- 14日 第28回優良商工従業員表彰式
- 15日 函館ソフトウェア専門学院地鎮祭
- 16日 第65回簿記検定試験
- 18日 函館競馬場開設90周年記念式典
- 19日 本所議員岡本忠作氏逝去
- 26日 函館日韓友好協会創立10周年記念式典
- 28日 昭和61年度函館市中小企業永年勤続者並びに技能功労者表彰式

謹賀新年



〒041 函館市西桔梗町589番地25 函館市中央卸売市場内

函館青果物商業協同組合

理事長 宮崎 安吉

TEL(0138)代 表49-5511番

購買部49-4329番



事務局日誌

12月

◆委員会

- 4日 第3回臨時議員総会
- 〃 議員会定時総会
- 18日 青函博特別負担金委員会正副委員長会議

◆正副会頭会議

- 1日 正副会頭会議
- 26日 正副会頭会議

◆会議・諸会議

- 1日 函館市亀田商工会との懇談会
- 2日 (財)テクノポリス函館技術振興協会融資助成審査会
- 〃 第44回国民体育大会昭和62年全国高等学校体育大会第1回総務・企画専門委員会
- 〃 全国検定試験担当者連絡会議
- 3日 初売り対策打合せ会
- 〃 所報「ともえ」No.71(新年号)新春放談
- 5日 61年度倒産防止特別事業担当者会議
- 6日 第2回函館ニューメディア・コミュニティ構想推進委員会
- 7日 綿貫北海道開発庁長官を囲む昼食懇談会
- 8日 全道商工会議所総務担当者会議
- 〃 '86道南地域ニューフロンティアフェスティバル実行委員会
- 9日 日本観光旅館連盟会員資格選考委員会
- 10日 函館繊維商組合役員会
- 〃 函館販売士協会理事会
- 16日 小企業等経営改善資金の審査会
- 〃 特定地域中小企業対策臨時措置法説明会
- 17日 同法に伴う金融説明会
- 18日 日商常議員会
- 20日 函館市交通事業経営審議会
- 26日 はこだて冬のイベント実行委員会総務部会

◆陳情・要望

- 3日 北海道新幹線現函館駅乗入れに関する陳情
- 11日 特定地域中小企業対策臨時措置法による本市指定(不況)に伴い、道内指定地域商工会議所(6会議所)一行と関係省庁に挨拶並びに要望
- 17日 函館どつく船台能力維持に関する陳情
- 25日 道新幹線建設促進中央陳情
新幹線整備線建設促進総決起大会

◆講習・催物

- 11日 倒産防止セミナー
「道南企業の現況と情報との係り方」
- 12日 法律相談
- 13日 } 輸入商品フェア・インはこだて
- 14日 }
- 15日 }
- 16日 } 個人青色申告並びに年末調整説明会
- 17日 }
- 〃 発明相談
- 23日 労働相談
- 24日 経営相談
- 26日 法律相談

◆相談・診断

金融180 税務123 経理134 経営147
労働4 取引0 その他0 計588

◆貸室

本館19 別館6

◆文書

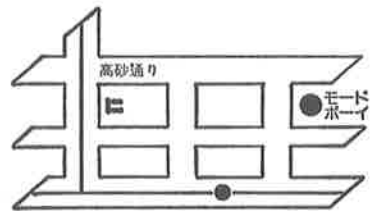
受信180 発信18

◆慶弔・その他

- 6日 青函博実行委員会車輛(三菱自動車5台)貸与引渡式
- 〃 陶陶亭創業50周年記念披露
- 〃 函館市医師会招待会
- 〃 函館青年会議所会員大会
- 7日 ワープロ検定試験(4級)
- 9日 本所労働保険事務組合道定期指導監査

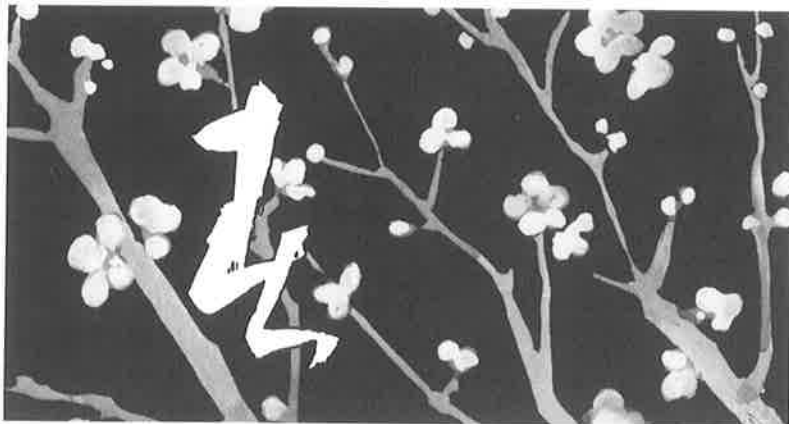
謹賀新年

CREATIVE HAIR MODE BOY



■受付/AM9:30~PM6:30
■定休日/毎週月曜日・毎月第3月・火曜日

1-17. ŌTEMACH. HAKODATE PHONE:22-2266



北海道ガス㈱函館支社
専務取締役函館支社長

安藤 勝見

万代町八一

ベンケイ綿㈱
代表取締役

飯田 貢一

昭和四一、二四一七

函館米穀㈱
取締役社長

石上 伊佐男

東雲町一五一九

布目水産食品冷蔵㈱
代表取締役

石黒 義男

弁天町一七一〇

キングハイヤー㈱
代表取締役

今川 重男

美原二一七七一

朝日生命保険相互会社函館支社
支社長

今吉 英夫

大手町一七一六

千代田生命保険相互会社函館支社
支社長

岩根 賢周

大手町二一七

丸卓不動産㈱
代表取締役

遠藤 烈子

宝来町二二一五

大一興業㈱
代表取締役社長

大越 勝己

昭和二一、四三、一五〇

㈱テオー小笠原
代表取締役社長

小笠原 金悦

松川町四五一六

小熊本産倉庫㈱
代表取締役社長

小熊 勝夫

大町二二一四

㈱オダフオートサービス
代表取締役社長

小田 征之

松風町一六一九

㈱棒二森屋
取締役社長

荻野 清

若松町一七一二



(株)陶陶亭
取締役社長
加地彦太郎
若松町一八一二〇

加藤組土建(株)
代表取締役
加藤 憲
千歳町三一二

北海興業(株)
代表取締役社長
加藤 隆三
中島町一四一六

三井生命保険相互会社函館支社
支社長
金谷 守
梁川町五一八

(株)帝国データバンク函館支店
支店長
鎌田 孝雄
元町三二一一七

日本電信電話(株)(NTT)函館支社
支社長
川内 康久
日乃出町二九一二

第一生命保険相互会社函館支社
支社長
川崎 順平
本町六一七

日本化学肥料(株)
取締役社長
川田 寛
浅野町三一六

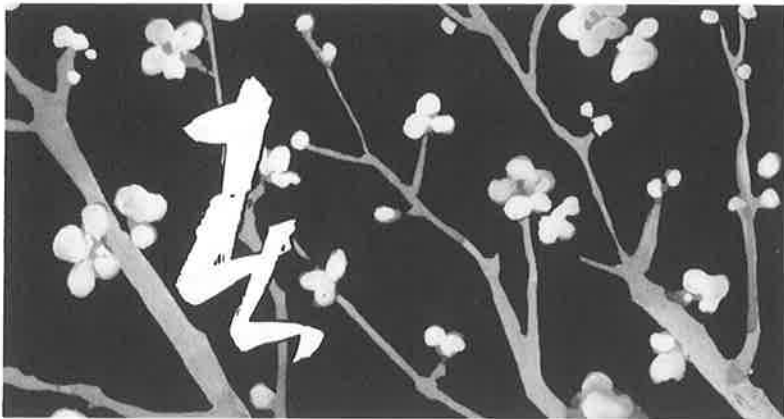
スエヒロ事務機(株)
代表取締役
川野 正明
宮前町三〇一一

(株)湯の川プリンスホテル
代表取締役社長
河内 孝夫
湯川町一―二―二五

函館トヨベツト(株)
代表取締役
河村 澤治
美原二―一四一―

山一証券(株)函館支店
支店長
木内 忠臣
若松町一六一一〇

函館定温冷蔵(株)
代表取締役社長
木村 勝太郎
海岸町二三一七



(株)北村船具店
 代表取締役社長
北村 實
 末広町二一―一六

小島商事(株)道南ハイヤー(株)
 代表取締役社長
小島 悦郎
 桔梗町二七二

(有)伸煌商事
 函館名産品商事(株)代表取締役
小坂 昭一
 本町三三―一〇

(株)高木組
 代表取締役社長
黒田 憲治
 東雲町一九―一三

真鉄工業(株)
 代表取締役
倉崎 六利
 浅野町四―八

みかど(株)函館営業所
 北海道地区担当取締役
佐藤 悦郎
 若松町二一―一九

函館バス(株)
 代表取締役
近藤 敏夫
 高盛町一〇―一

野村證券(株)函館支店
 支店長
小林 博之
 若松町七―一五

富士ゼロックス(株)北海道営業部
 函館出張所所長
小林 秀恒
 本町七―一八

桜井外治事務所
 北海道議会議員
桜井 外治
 千歳町二一―一五

共栄運輸(株)
 代表取締役社長
斎藤 鉄男
 海岸町二三―一五

渡島信用金庫
 理事長
佐野 正名
 茅部郡森町字御幸町二一五

衆議院議員
佐藤 孝行
 大手町五―一〇(日魯ビル)